

R2年度 川田研究室の概要

1. ゼミの実施曜日・時限

- ・3年次：後期 金曜日 5限目
- ・4年次：研究室の学生と相談のうえ、全員が集まれる日に設定

2. 教員（川田）の研究分野・研究テーマ・所属学会・資格

- (1) 研究分野 : ①発育発達 ②運動処方 ③応用健康科学 ④健康教育
- (2) 研究テーマ : ①肥満小児に対する生活習慣改善支援
②出生時体重がその後の体力値に及ぼす影響（成人病胎児期発症説・DOHaD 仮説）
③成長期の骨密度と体力値との関連
- (3) 所属学会等 : ①日本体力医学会 ②日本体育学会 ③日本発育発達学会 ④日本運動生理学会
⑤日本肥満学会 ⑥日本運動疫学会 ⑦日本トレーニング指導者協会
- (4) 主要な資格 : ①健康運動指導士 ②全日本ノルディック・ウォーク連盟スポーツサイエンス委員
③JATI 認定トレーニング指導者資格(JATI-ATI) ④全日本スキー連盟準指導員

* 上記に関連するような研究テーマであれば指導できると思います。研究室選択の参考にしてください。

3. 過去の卒業論文題目（一部掲載）

川田研究室では、これまでに以下のような卒業論文を執筆しています。研究分野と実際の卒業論文の題目（内容）から、自分の興味に合致しているかを検討する際の参考にしてみてください。

(1) 発育発達

- ・出生時体重は成人期の体力に影響を及ぼすのか（平成29年度 子ども支援学科）
- ・中学生における骨密度と体力値および運動有能感との関係（令和元年度 健康体育学科）

(2) 運動処方

- ・スマートフォンによる身体活動量計測の妥当性（平成28年度 健康体育学科）
- ・自己設定速度からみたノルディック・ウォーキングの心拍数および酸素摂取量の比較（平成30年度 健康体育学科）

(3) 応用健康科学

- ・女子学生における体型意識と体組成・筋力との関係について（平成28年度 子ども支援学科）
- ・スマートフォン向けゲームアプリ『Pokémon GO』によって身体活動量は高まるのか（平成28年度 健康体育学科）
- ・椅子立ち上がりテストの望ましい実施秒数の検討－10秒, 15秒, 20秒, 30秒での比較－（平成29年度 健康体育学科）

(4) 健康教育

- ・幼児のテレビ視聴、ゲーム機・スマートデバイスの使用状況と保護者の意識について（平成28年度 子ども支援学科）
- ・公園の現状は子どものニーズに一致しているのか－4種類の公園での実地調査－（平成29年度 子ども支援学科）

3. 研究室で扱う（推奨する）テーマの一例

川田研究室では、健康・スポーツ科学の研究を通して世の中をハッピーにすることを目標にしています。研究内容は自然科学系・社会科学系が中心となります。人文科学系の研究（文学、歴史、哲学など）は指導できません。したがって、実験、測定、アンケート調査などでデータをとって、その分析結果をもとに論文を執筆することになります。研究室の行事は「3年次の冬合宿」「4年次の夏合宿」「地域交流スポーツフェスティバル（体力測定評価ブース）」「親子健康教室」などです（予定）。ご質問のある方は、kawata@kokugakuin.ac.jp にご連絡ください。

川田研のモットー『よく学び、よく飲んで、よく遊べ！』